

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた課題と取組の状況

【特徴(強み)】

- ・各保健所で平成25年度から地域移行支援連絡協議会を実施してきたことにより、保健所圏域単位で保健(行政)・医療・福祉関係者の顔の見える関係ができてきている。
- ・県独自の支援ツール(相談支援の手引き、精神医療福祉マップ、こころの生活支援手帳)がある。

課題	課題に解決に向けた取組状況	取組の成果
・長期入院者が多い	協議の場における検討 <ul style="list-style-type: none"> ・県自立支援協議会地域移行支援部会 ・保健所地域移行支援連絡協議会 人材育成 ・地域移行支援関係従事者研修会の実施 	長期入院者の地域移行を促進するため、地域の支援体制の整備を目指して、保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置及び人材育成に取り組んだ結果、 <ul style="list-style-type: none"> ・モデル圏域9市町のうち、7市町に協議の場が設置された。 ・長期入院者の減少(目標達成)には至らなかった。
・市町村ごとの協議の場の設置が少ない	モデル圏域の保健所地域移行支援連絡協議会において、市町村の協議の場の設置を推進する。	

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (現時点)※	目標値 (令和元年度末)	達成状況の見込み(評価)
①長期入院者数	(H29) 3,905人	(H30) 3,709人	平成30年度 実績 3,898人
②市町村の協議の場の設置数(*)	13か所	20か所	令和元年9月 実績 10か所

※現時点の値が分かれば記入して下さい。分からない場合は、年度当初の値で構いません。

●指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

*精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に係るアンケート調査(厚生労働省)結果より